

## 今週（6月22日から6月26日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、22日の国債の大量償還・利払いや25日の新型コロナ対応金融支援オペによる資金供給、26日の米ドル資金供給用担保国債供給オペの期落ち等を受け、日銀当座預金残高は440兆円台後半まで増加した。無担保コールO/N物は、週初から25日までは、邦銀の調達を中心に▲0.05～▲0.035%のレンジで推移し、無担保コールO/N物加重平均レートは、概ね▲0.04%台前半での推移となった。週末3日積みとなる本日は調達ニーズが強まり、▲0.035%の出合いが中心となった。ターム物に関しては、月末エンドの期日物で▲0.07%近辺、7月スタートのショートターム物で▲0.06%近辺での出合いが見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは26日に2W物・20,000億円がオファーされ、1,900億円（期落ち額2,250億円）と札割れとなった。その他、24日には、新型コロナ対応金融支援オペが6M物でオファーされ、82,784億円の貸付が行われた（期落ち額33,968億円）。今回オファー分から「新たな資金供給手段」と一体的に運営されるようになったことで、大量の応札が見られた。同オペの残高は25日時点で208,352億円となる見込み。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.070～▲0.045%程度の水準で推移した。業者・投資家ともに一定のファンディングニーズが見られた。

SC個別銘柄では、5年140～143、10年340～358、20年170～172、30年60～66、40年9～13などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、増発により需給が徐々に悪化していることから、3M物は▲0.105～▲0.098%出合いと、軟調に推移した。一方で、オペ期待などから、6M物は▲0.230～▲0.220%、1Y物は▲0.228～▲0.219%で出合うなど、堅調な推移となった。

23日に実施された短国買入オペは、前回と同額の30,000億円でオファーされた。応札額は88,909億円と多かったものの、平均落札利回較差+0.005%、按分落札利回較差+0.003%と、しっかりした結果となった。

26日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.104～▲0.095%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.0946%、按分落札利回▲0.0902%と、やや甘い結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットにおいては、入札と同水準で推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、石油・鉄鋼・重工・ノンバンクから大型の発行が実施され、発行総額は12,500億円程度となった。一方で、償還額は四半期末の大量償還を含むことから、26,000億円程度となり、償還超となった。発行体の調達が長期化していることを反映し、昨年の6月末を含む週と比較すると、償還額自体は減少している。市場の総残高は、過去最高を記録した3月下旬の残高25兆円程度を僅かに上回る日も見られるなど、引き続き高水準が維持されている。発行レートについては、浅いマイナスから0%のレンジで大方の銘柄が推移している。

25日にはCP等買入オペが予定通り6,000億円でオファーされた。応札額が13,394億円、按分レート▲0.003%、平均落札レート0%となり、ディーラーの入替ニーズの強さを反映した結果となった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/22 (月)	22,437.27	0.005	106.87	△ 0.045	△ 0.060	4,375,600
6/23 (火)	22,549.05	0.005	107.15	△ 0.042	△ 0.069	4,385,400
6/24 (水)	22,534.32	0.010	106.55	△ 0.043	△ 0.060	4,383,600
6/25 (木)	22,259.79	0.010	107.10	△ 0.042	△ 0.062	4,437,000
6/26 (金)	22,512.08	0.005	107.11	△ 0.038	△ 0.054	4,473,600

## 来週（6月29日から7月3日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/29 (月)	5月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)				
6/30 (火)	5月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 5月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 5月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 5月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	2Y 30,000億円 7/1発行			4月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 6月の米CB消費者信頼感指数 6月のシカゴPM景況感指数 6月のユーロ圏消費者物価指数速報値 1-3月期の英GDP確報値
7/1 (水)	6月調査の日銀短観(概要及び要旨,日銀 8:50) 6月の消費動向調査(内閣府 14:00)				5月の米建設支出 6月のISM 製造業景況指数
7/2 (木)	財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00) 6月のマネタリーベース(日銀 8:50)	10Y 26,000億円 7/3発行			6月の米雇用統計 5月の米貿易収支 5月の米製造業新規受注・出荷・在庫
7/3 (金)	7月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)	TB3M 81,400億円 7/6発行			New York祝日(Independence Day,observed)

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/29 (月)	▲ 1,200	▲ 37,400	▲ 38,600	国債買入 全店共通 CP買入 社債買入 国債補完		6,700 ▲ 2,300 ▲ 200 2,000 100	8,200	▲ 30,400	TB3M発行▲91400償還45700
6/30 (火)	400	20,300	20,700	CP買入		6,000	6,000	26,700	財投機関向け貸付 地方税など
7/1 (水)	0	▲ 27,000	▲ 27,000				0	▲ 27,000	2Y発行▲30000償還8900
7/2 (木)	0	▲ 28,000	▲ 28,000				0	▲ 28,000	法人税・消費税 年金保険料 国立大学法人運営費
7/3 (金)	▲ 1,000	▲ 22,000	▲ 23,000	国債売現先(米ドル)	35,500		35,500	12,500	10Y発行▲26000
週間合計	▲ 1,800	▲ 94,100	▲ 95,900	—	33,100	16,600	49,700	▲ 46,200	

6/29は日銀予想、6/30以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、30日は四半期末要因による取り手の減少により、弱含みの展開が予想される。7月以降は四半期末要因が剥落することに加え、法人税、年金保険料揚げや国債の発行要因による資金不足が予想されるため、無担保コールO/N物加重平均レートは上昇傾向とすることが見込まれる。レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化が無ければ、GC T/Nは引き続き▲0.100%を上回る水準で推移することが見込まれる。短国市場は、3日に3M物の入札が実施予定となっている。短国が増発される中、レート水準やオペのオファー額が注目される。CP市場は、CP等買入オペは予定されておらず、期明けの発行がどの程度増加するか注目される。

主要なイベントとしては、国内では1日に6月調査の日銀短観、海外では30日に1-3月期の英GDP確報値、2日に6月の米雇用統計の公表等が挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入